

キャリア教育支援プログラムの概要

キャリア教育とは・・・その必要性

子どもたちが「生きる力」を身に付け、明確な目的意識を持って日々の学業生活に取り組む姿勢、激しい社会の変化に対応し、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力やしっかりとした勤労観、職業観を身に付け、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められています。

(文部科学省 HP より抜粋)

豊田高専におけるキャリア教育支援の必要性

就職（進学）率がほぼ100%の高専での必要性は？

- (1) 多くの情報がある中で入学してくる学生の価値観や人生観の多様化
- (2) 個人にあった職業選択、専攻科への進学や大学編入学など進路の多様化
- (3) 景気の波の激しい変動といった社会情勢の変化による進路の多様化
- (4) 学業だけでなく、幅広い知識や社会性を備えているという社会（企業）からの要求

このような中、年齢に応じた適切な学習の動機付けを行い、目的意識をもってもらい、高度な先端技術を身につけるとともに、幅広い教養や社会性を身につけ、いわゆるコンピテンシー*を有する技術者として社会に送り出すことが求められています。

*コンピテンシーとは、高い成果を生み出す人の特徴的な行動特性のことです。

豊田高専におけるキャリア教育支援プログラム

「人生を有意義に過ごすための知識・技術・人間力を育む」ために、次のようなプログラムを用意し、学生生活における“学びの過程を支援”します。

◎社会性を育むプログラム

→ 自己理解、他者理解

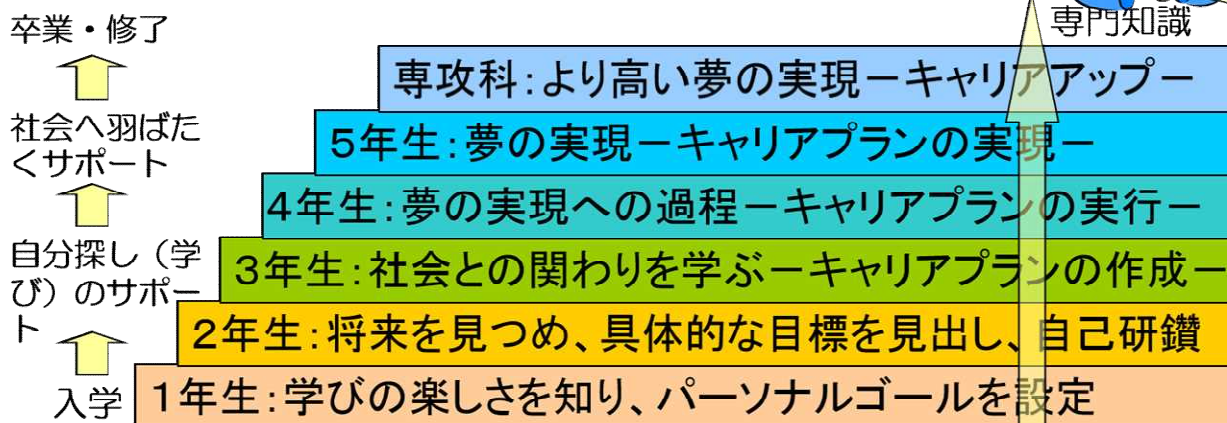
◎夢の実現のためのプログラム

→ 社会理解や自己分析・適性理解



具体的には、「将来の夢、その実現のためのサポート」を目標に、学年毎に目標を定めたキャリア教育支援プログラムで皆さんの学びの過程を支援します。

将来の夢、その実現のためのサポート



例えば、社会で活躍されている方からの講演会
自己理解や他者理解のための合宿研修 など

キャリア教育支援プログラムの特徴

- (1) 低学年では、ホームルーム活動を中心に、学生生活を送る上での学びの環境作りや社会性を育むために、学習の動機付け、基本的な生活習慣や人間関係の構築などのプログラム内容となっています。
- (2) 高学年では、将来の夢を実現していくために、皆さんが自主・自立的にキャリア形成を行えるようにプログラムを構成し、進路決定を円滑に行うためのプログラム内容となっています。中には、学生の判断による希望受講制をとっています。
- (3) パーソナルポートフォリオ（T-ファイル）を用いることで、キャリア教育支援プログラム資料を残し、キャリアを積んでいく過程の履歴化、そして、振り返ることによる「気づき」によるキャリア形成が図れるようにしています。

学生の皆さんへ望むこと

- **基本的な生活習慣の継続（5年間は長いようで短い！）**
時間を大切に（守り）、与えられた仕事、課題などを確実に行う
- **多くの先生、先輩や友人と接し、自ら学ぼうとする姿勢**
課外活動などを通してさまざまなことを学ぶ。教員とは、報（告）、連（絡）、相（談）をする
- **生徒から学生へ進化、そして技術者への進化**
T-ファイルの活用と自主・自立で、自身のキャリアを形成する